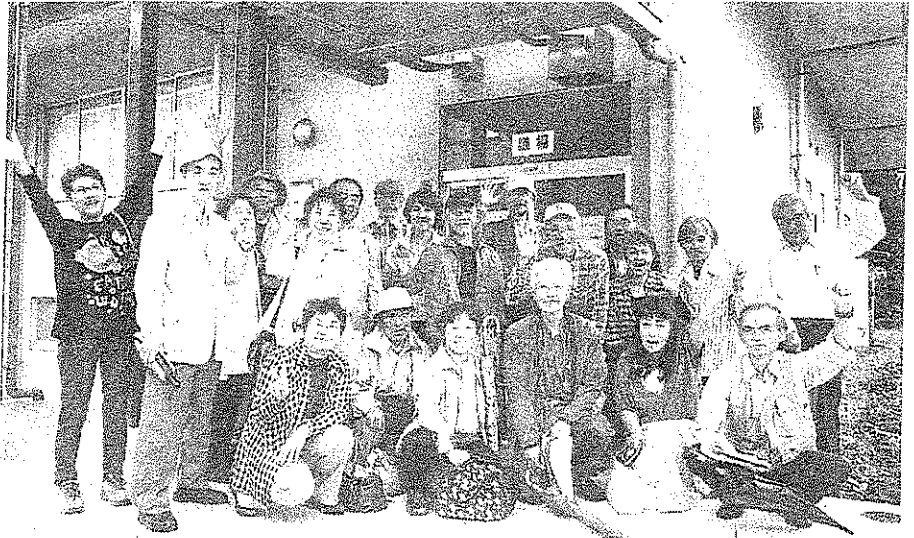


9/21 五曜

傍聴に駆けつけた重田さん（前列右から3人目）と支援者ら＝20日、山梨県北杜市



南スーダン自衛隊派遣中止を 山梨北杜市議会が意見書

請願の市民喜び

山梨県北杜（ほくと）

市議会は20日、南スーダンへの新たな任務による自衛隊派遣の中止を求め、意見書を賛成多数で可決しました。

意見書は「日本はこれまでの戦後70年余、自衛隊が海外で武器を使い他国民を殺すことは皆無であったし、自衛隊員が海外で殺されることもなかった。これは私たち日本国民が誇れること」と指摘。「自衛隊が新たな任務で派遣された場合『殺し、殺される』現実味を帯びること

は重大」「若者の命を大切にすることこそ地方自治体の任務だ」と意見書提出の理由を述べています。

賛成討論には日本共産党の清水進市議ら3人、反対討論には公明市議ら2人が立ちました。

同議会に請願を行ったのは重田友五郎さん(77)と太田義徳さん(57)。傍聴席で支援者と審議を見守った重田さんは「市民の声が議会に届き、意見書として国へ届けることができる。これからも声を上げ続けたい」と話していました。